

2024年3月期 第2四半期

決算説明会

JKホールディングス(株) (9896)

代表取締役社長 青木 慶一郎



2023年11月22日



JK Holdings Co.,Ltd.

エグゼクティブサマリー

2024年3月期 第2四半期 エグゼクティブサマリー

業績

| | | | |
|----------------------|-------|----|----------------|
| 売上高 | 1,911 | 億円 | 前年同期比 6.2%減 ↓ |
| 経常利益 | 43 | 億円 | 前年同期比 40.4%減 ↓ |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 24 | 億円 | 前年同期比 47.2%減 ↓ |

・売上高は1,911億65百万円（前年同期比6.2%減）とレコードを大きく更新した前年同期には届きませんでした。しかし、「ウッドショック」前の水準を上回っております。

・利益面では、総合建材小売事業が前年同期並みの利益を確保し堅調に推移した一方、合板製造・木材加工事業の減益幅は大きく、全体として大幅な減益となりました。

・前年同期比で減収減益にはなりましたが、期初計画との比較では売上高はほぼ計画並み、利益は計画を上回る水準で推移しております。

通期計画

| | | | |
|-----------------------|-------|----|------------|
| 売上計画 | 4,000 | 億円 | 計画進捗 47.8% |
| 経常利益計画 | 80 | 億円 | 計画進捗 54.9% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益計画 | 50 | 億円 | 計画進捗 49.2% |

配当

2024年3月期 中間配当 15 円 期末配当 25 円（予想）

業界および同業他社について 5ページ

JKホールディングス(株)について 11ページ

2024年3月期 第2四半期決算概要 15ページ

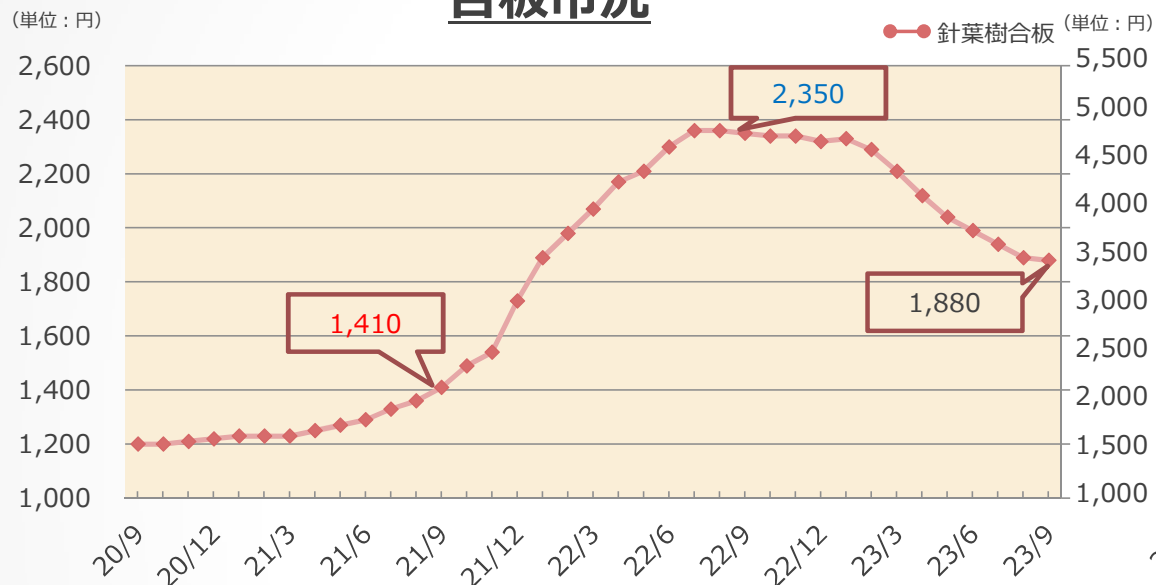
中長期経営計画について 21ページ

補足資料 32ページ

業界および同業他社について

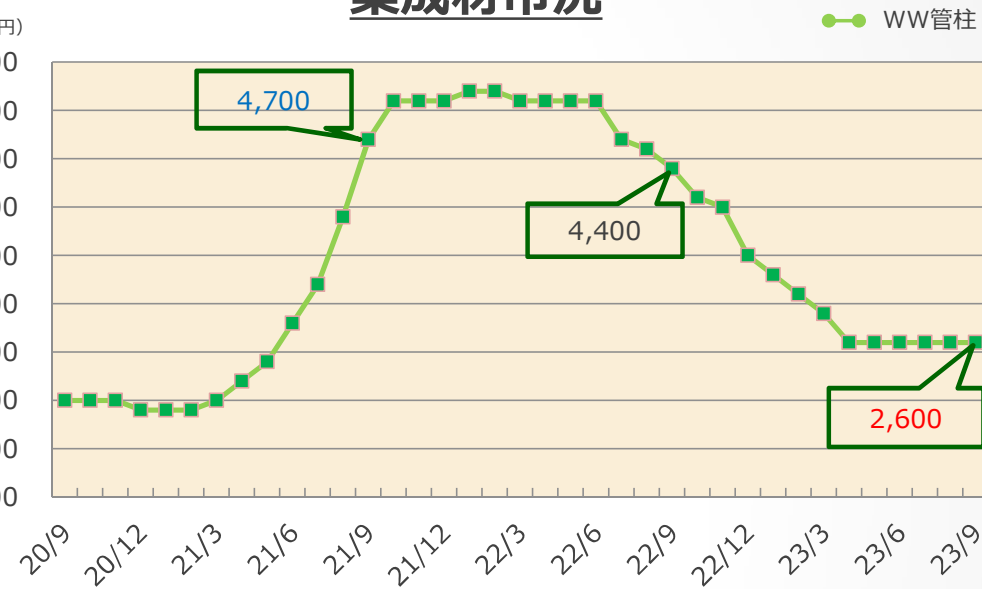
(1) 事業環境 - 合板・集成材市況と為替レート推移

合板市況



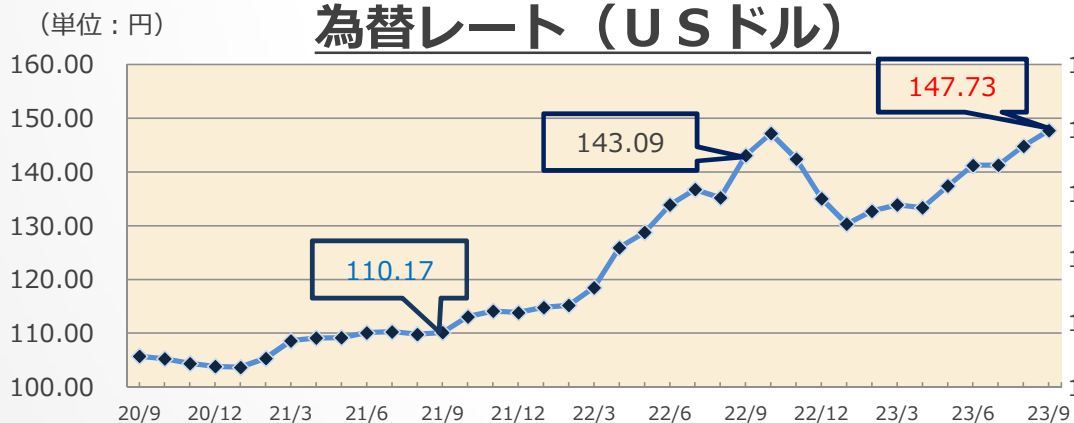
(注) 農林水産省統計 全国平均価格針葉樹合板 (厚12mm、幅910mm、長さ1820mm、1類)

集成材市況



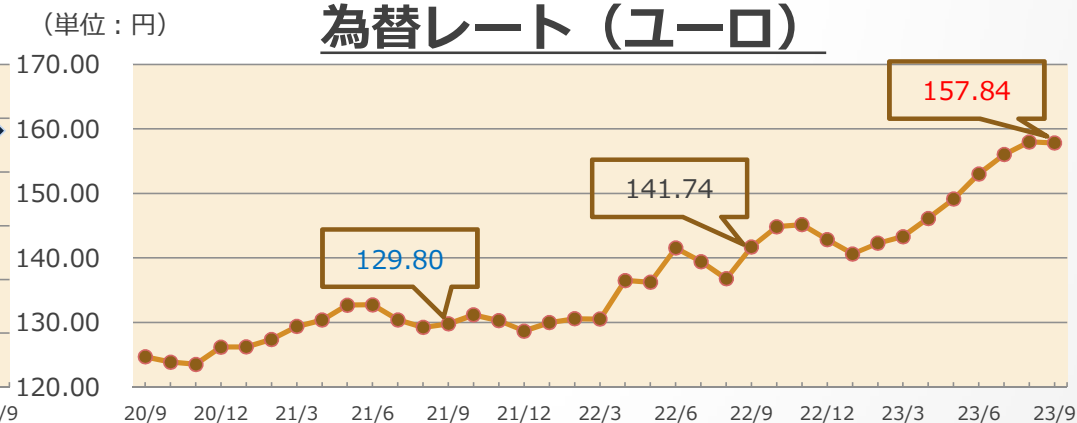
(注) 農林水産省統計 全国平均価格ホワイトウッド集成管柱 (厚105mm、幅105mm、長さ2980~3000mm、1等)

為替レート (USドル)



(注) 三菱東京UFJ銀行 公表相場TTM

為替レート (ユーロ)



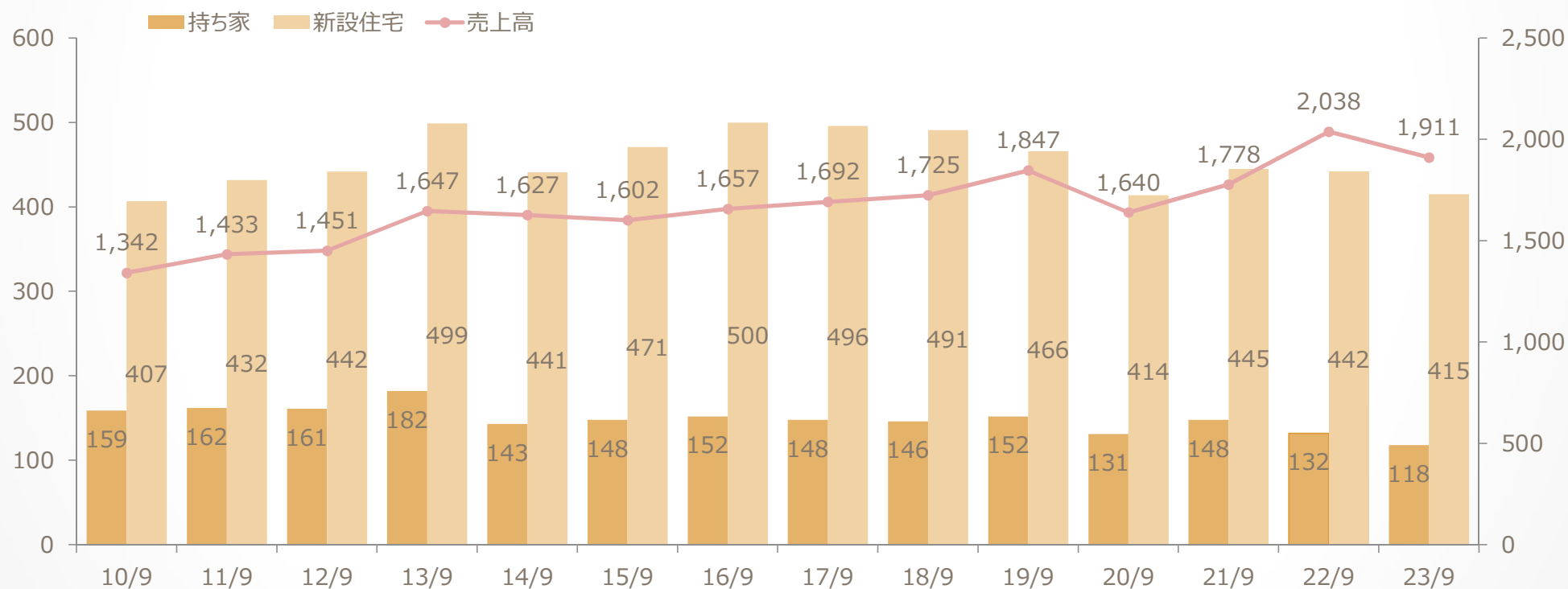
(2) 第2四半期 住宅着工戸数 推移

住宅着工

新設住宅着工の動きは、住宅価格の高止まり等により、全体で6.2%の減少、当社グループが主力とする持ち家着工戸数は10.2%の減少となっております。

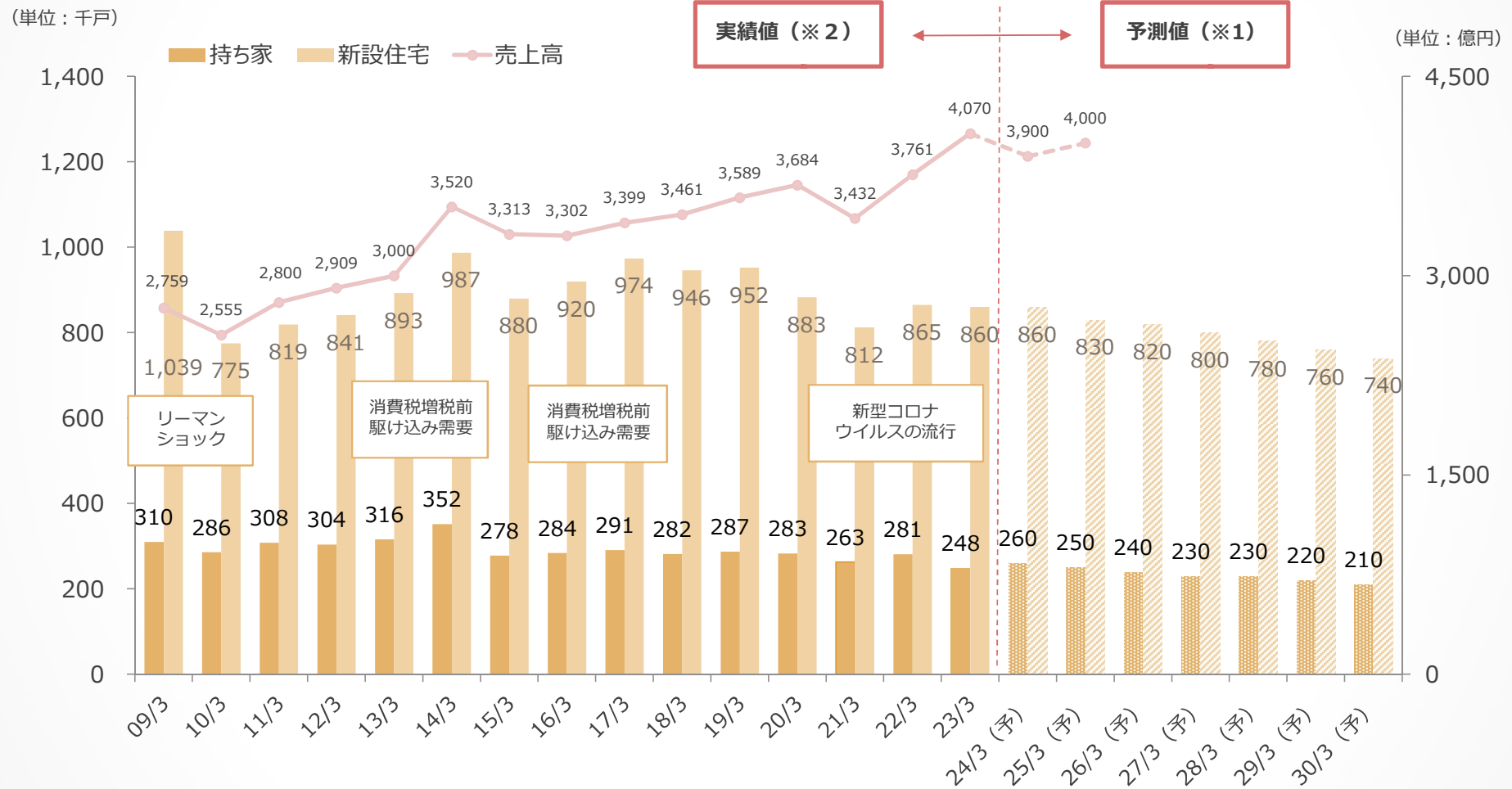
(単位：千戸)

(単位：億円)



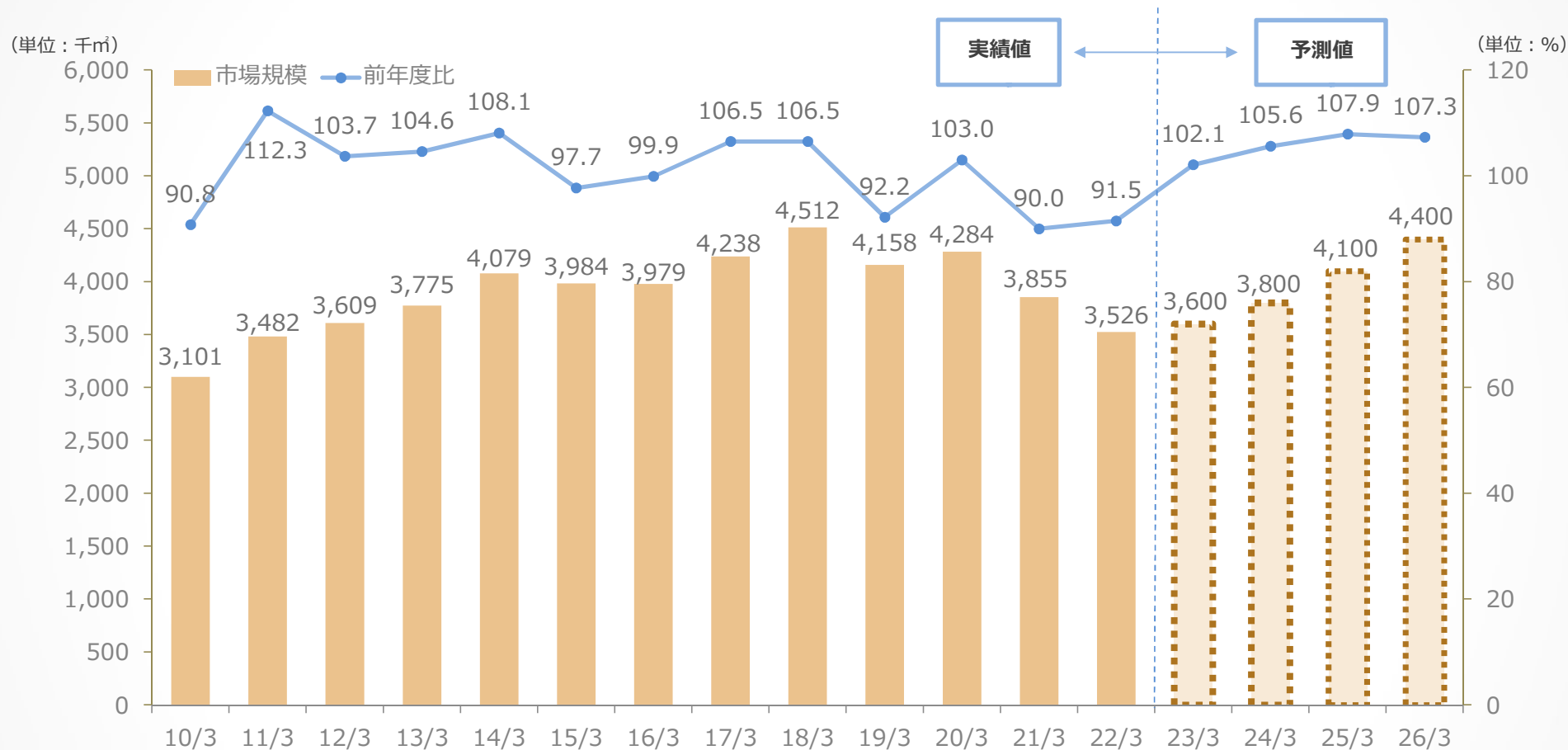
出典：住宅着工数 国土交通省 建築着工統計調査報告

(参考) 住宅着工戸数 推移



出典：※1 野村総合研究所のデータをもとにJKホールディングス(株)が作成 (2023年6月22日公表)
 ※2 国土交通省 建築着工統計調査報告

(3) 非住宅木造建築市場規模推移

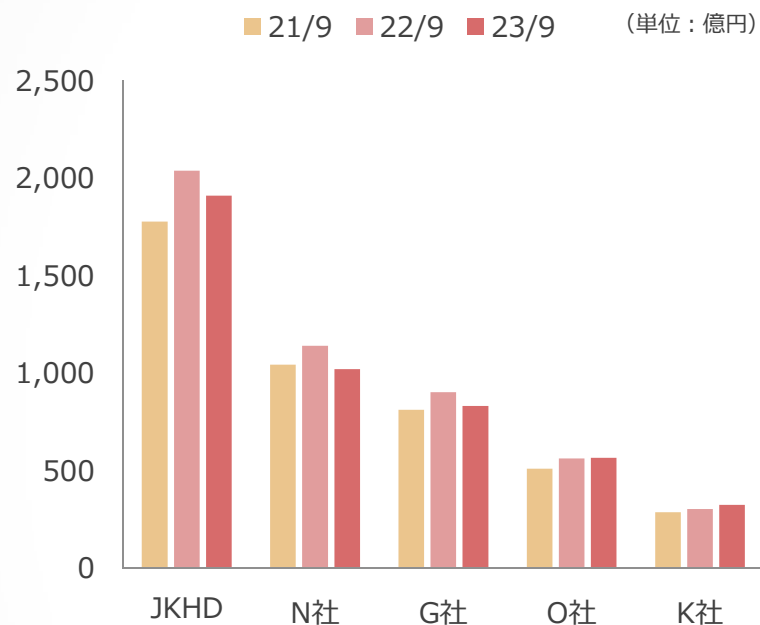


出典：(株)矢野経済研究所「非住宅木材市場に関する調査（2022年）」2022年10月6日発表

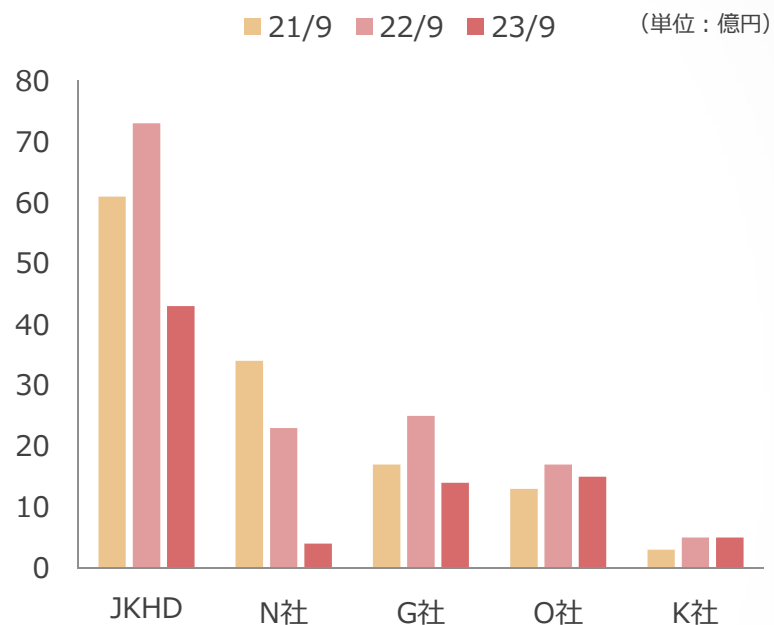
注：独立行政法人統計センターによる国土交通省「建築着工統計」のオーダーメード集計データを基に矢野経済研究所推計（なお、2009～2021年度の実績データは統計法に基づいて、独立行政法人統計センターから「建築着工統計」（国土交通省）のオーダーメード集計により提供を受けた統計成果物を基にしており、国土交通省が作成・公表している統計等とは異なります）。非住宅木造市場とは、国土交通省「建築着工統計調査」の分類における「産業用建築物（事務所、店舗、工場及び作業場、倉庫、学校の校舎、病院・診療所、その他の合計）」で「木造」構造の建築物を対象とし、市場規模は建築着工ベースにおける床面積にて算出。

(4) 同業他社との業績比較

■ 売上高



■ 経常利益



■ 前期比較

| | JKHD | N社 | G社 | O社 | K社 |
|------|--------|--------|--------|--------|------|
| 売上高 | ▲6.2% | ▲10.5% | ▲7.7% | 0.6% | 6.6% |
| 経常利益 | ▲40.4% | ▲79.7% | ▲43.0% | ▲14.5% | 0.9% |

JKホールディングス(株)について

企業理念

「快適で豊かな住環境の創造」

当社グループは、住宅建築資材の流通業を主要事業とし、「快適で豊かな住環境の創造」という企業理念の下、より良い住宅資材を、適正価格で、お客様の要望される場所にお届けすることを目標に、営業活動を展開しております。

また、単にモノを販売するだけでなく、お客様に経営のノウハウを提供することで、お客様との共存共栄を図る仕組みづくりにも取り組んでおります。

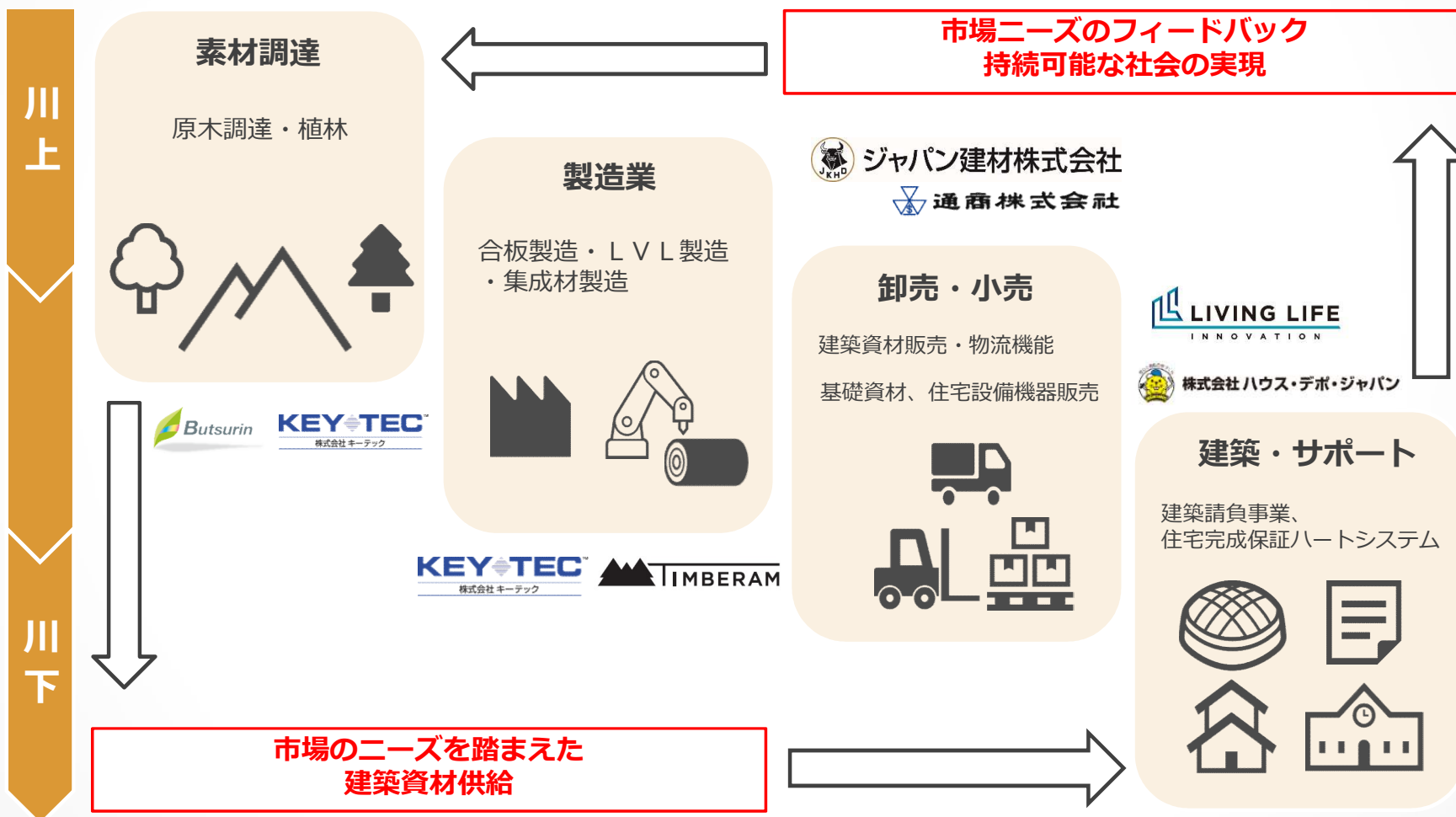
基本情報（2023年9月30日現在）

| | | | |
|------|---|-------|--|
| 商号 | J Kホールディングス株式会社 (JK Holdings Co.,Ltd.) | 創業 | 1937年10月 |
| 代表者 | 代表取締役社長 青木 慶一郎 | 所在地 | 東京都江東区新木場1-7-22 |
| 資本金 | 3,195百万円 | 事業の内容 | ① 総合建材卸売事業 13社 ② 合板製造・木材加工事業 9社 ③ 総合建材小売事業 18社 ④ その他 21社 計 61社 |
| 従業員数 | 3,336名（連結） | | |

(2) JKホールディングスグループ事業概要



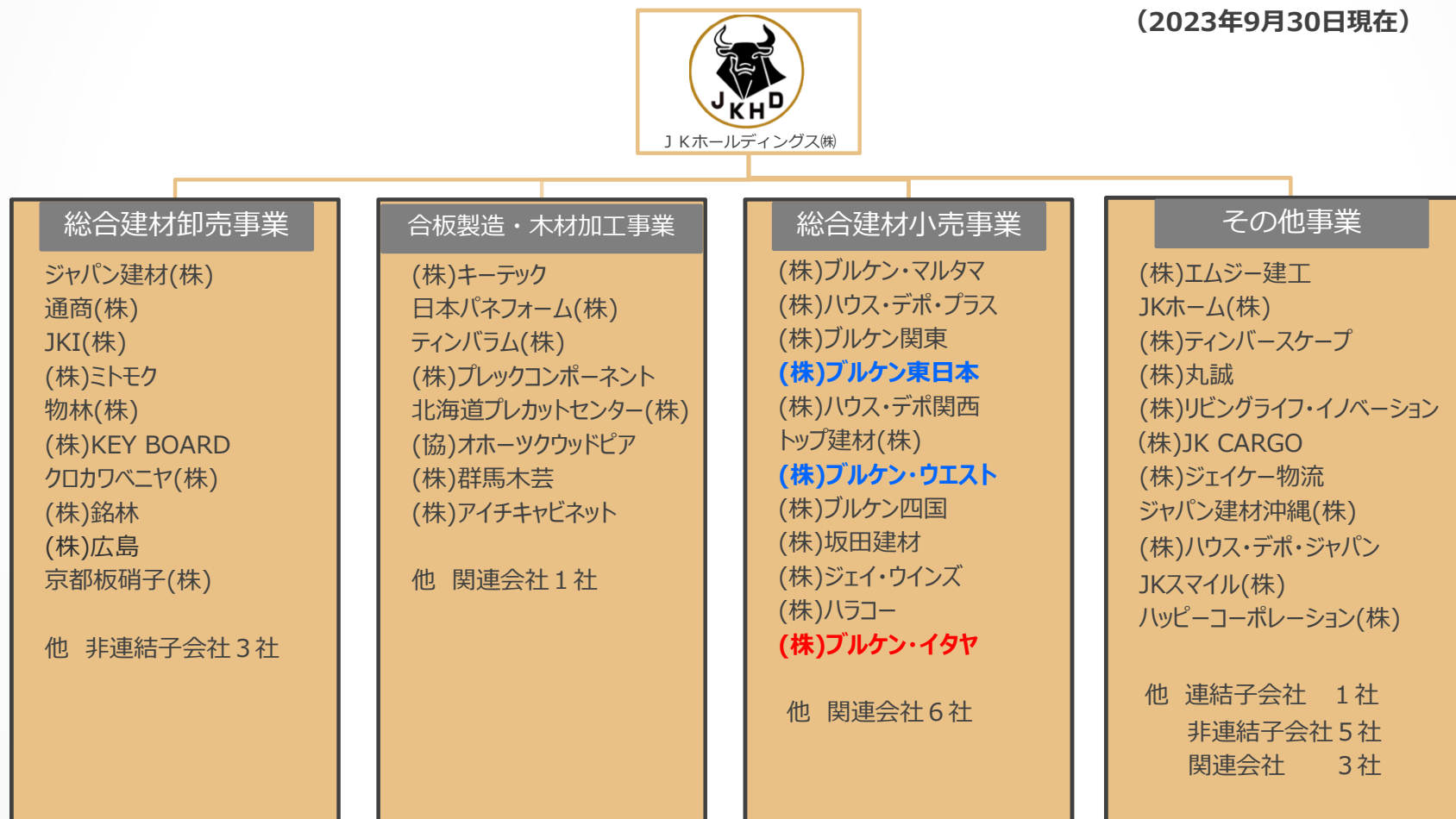
JK Holdings Co.,Ltd.



(3) グループ企業一覧

純粋持株会社であるJKホールディングス(株)の下、住宅建材の「専門商社」であるジャパン建材(株)を中核会社として、住宅関連企業をグループ傘下に展開しています。

(2023年9月30日現在)



※赤文字は2024年3月期に新たにグループに加わった会社、青文字はグループ内組織再編を実施した会社です。

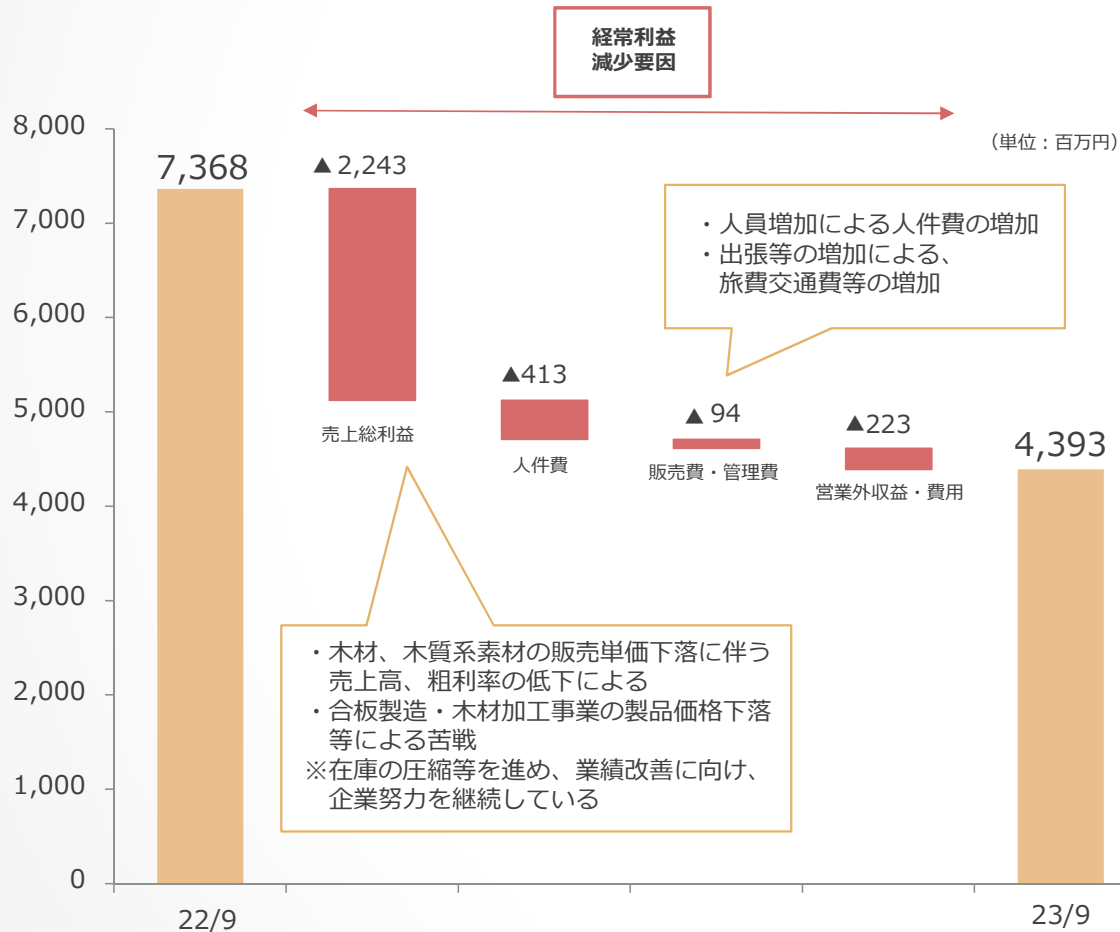
2024年3月期 第2四半期 決算概要

(1) 連結業績

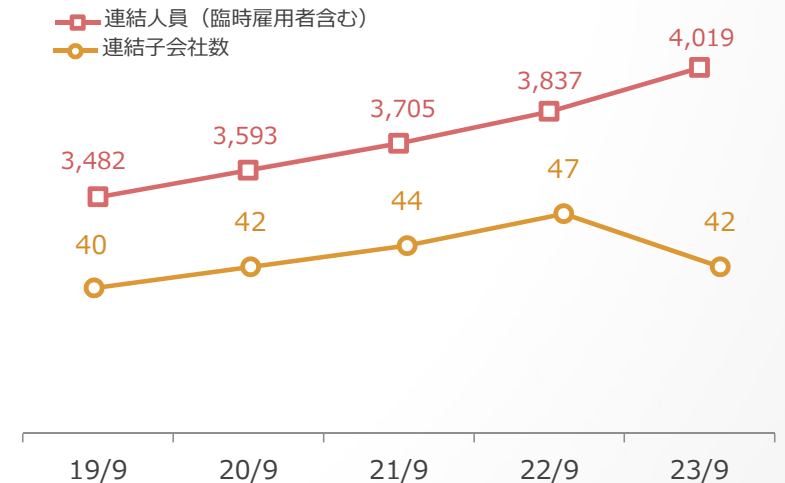
| (百万円) | 2024年3月期 通期計画 | 2023年9月期 | 2022年9月期 | 前年比 (%) |
|--------------------------|------------------|----------|----------|---------|
| 売上高 | 400,000 | 191,165 | 203,804 | ▲6.2% |
| 売上総利益 | — | 22,785 | 25,028 | ▲9.0% |
| (粗利率%) | — | 11.9% | 12.3% | |
| 販管費 | — | 18,651 | 18,144 | 2.8% |
| 営業利益 | 8,000 | 4,133 | 6,884 | ▲40.0% |
| 経常利益 | 8,000 | 4,393 | 7,368 | ▲40.4% |
| 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 | 5,000 | 2,460 | 4,658 | ▲47.2% |

(2) 利益増減分析

連結経常利益増減



| | 主要販管費増減内訳 | | |
|-----|-----------|--------|-------|
| | 22/9 | 23/9 | 増減比率 |
| 人件費 | 10,470 | 10,883 | 3.9% |
| 販売費 | 4,033 | 4,152 | 3.0% |
| 管理費 | 3,640 | 3,615 | ▲0.7% |
| 合計 | 18,144 | 18,651 | 2.8% |



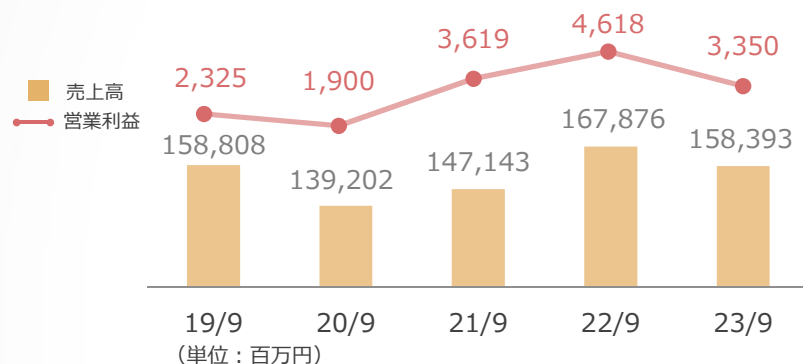
(3) キャッシュフローの状況

| (百万円) | 2022年9月期 | 2023年9月期 | 前年差 |
|-----------------------|----------------|----------------|----------------|
| 営業キャッシュフロー | ▲ 1,516 | 12,663 | 14,179 |
| 売上債権の増減額 (▲は増加) | ▲ 4,427 | ▲ 945 | 3,482 |
| 棚卸資産の増減額 (▲は増加) | ▲ 5,534 | 4,377 | 9,911 |
| 仕入債務の増減額 (▲は減少) | 4,791 | 7,060 | 2,268 |
| 投資キャッシュフロー | ▲ 705 | ▲ 1,613 | ▲ 908 |
| 固定資産の取得による支出 | ▲ 1,319 | ▲ 928 | 390 |
| 固定資産の売却による収入 | 478 | 35 | ▲ 442 |
| 事業譲受による支出 | - | ▲ 716 | ▲ 716 |
| 財務キャッシュフロー | 2,718 | ▲ 1,800 | ▲ 4,519 |
| 短期借入金の純増減額 (▲は減少) | 3,548 | ▲ 532 | ▲ 4,080 |
| 長期借入れによる収入 | 4,913 | 4,257 | ▲ 656 |
| 長期借入金の返済による支出 | ▲ 4,948 | ▲ 4,580 | 368 |
| コマーシャル・ペーパーの発行による収入 | 8,000 | 6,000 | ▲ 2,000 |
| コマーシャル・ペーパーの償還による支出 | ▲ 8,000 | ▲ 6,000 | 2,000 |
| 配当金の支払額 | ▲ 596 | ▲ 723 | ▲ 126 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 39,291 | 51,628 | 12,336 |

(4) 事業別の売上高・営業利益推移

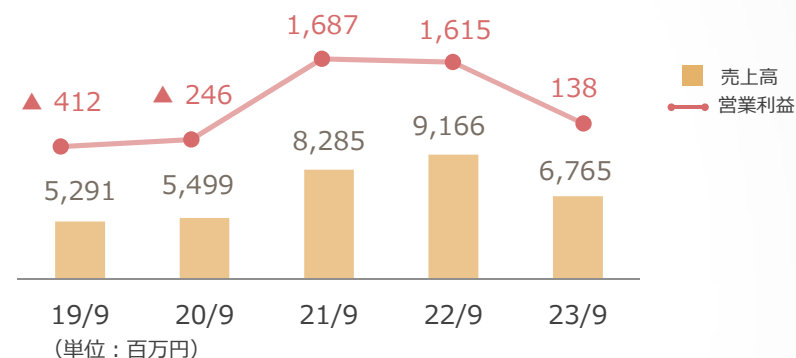
① 総合建材卸売事業

「ウッドショック」の反動から値下がりが続いた木材、合板等の価格は底打ちの兆しが出てきており、中核のジャパン建材(株)をはじめ、売上のボリュームと適正な利益の確保に努めましたが、大幅な増収増益となった前年同期との比較では見劣りする結果となりました。



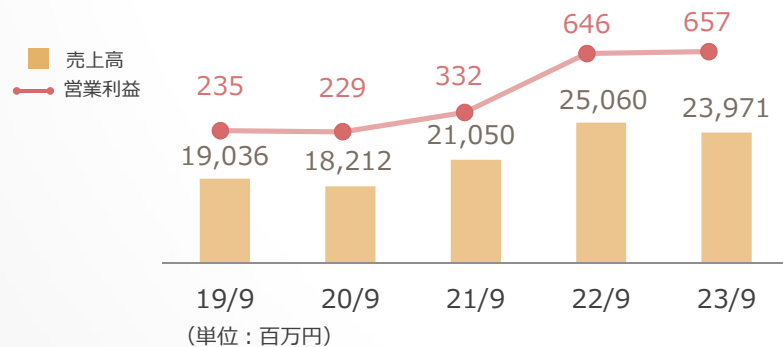
② 合板製造・木材加工事業

中核を占める(株)キーテックは、キーラム事業の苦戦および国産合板も前期の勢いはなく、売上・利益とも減少しましたが、利益面では期初計画を上回っております。ティンバラム(株)は、製品価格下落により厳しい状況が続いていますが、在庫の圧縮など業績改善に向け、企業努力を継続しております。

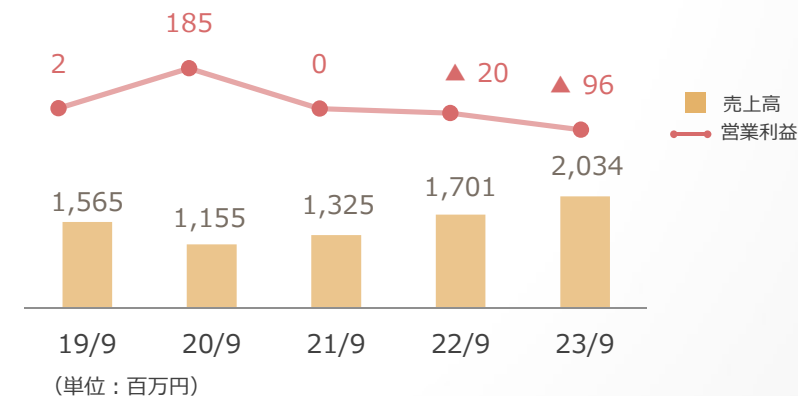


③ 総合建材小売事業

当期、(株)長谷川建材を(株)ブルケン東日本に、(株)タムラ建材および(有)原口建材店を(株)ブルケン・ウエストに吸収合併を行い、9月には新潟地盤の(株)イタヤ等から事業を譲り受けました。適宜組織再編を実施し、各地の事業承継ニーズに応えながら、グループのネットワークをダイナミックに拡大しております。



④ その他

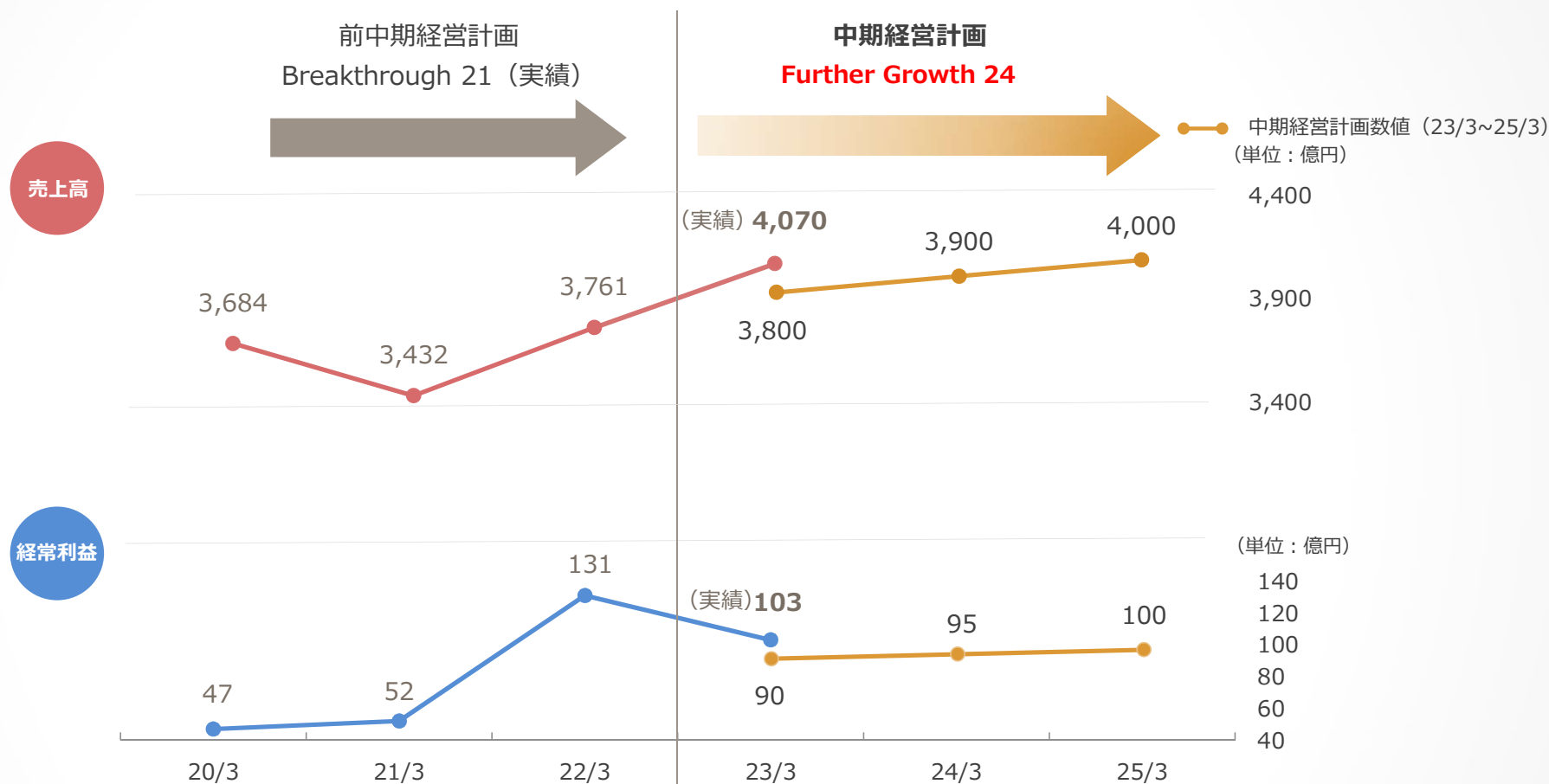


(5) バランスシート状況

| (百万円) | 2023年3月期 | 2023年9月期 | 増減 |
|--------------|----------------|----------------|---------|
| 資産 | 225,408 | 231,948 | 6,540 |
| 現金及び預金 | 42,897 | 52,140 | 9,242 |
| 売上債権及び契約資産 | 88,368 | 89,046 | 677 |
| 棚卸資産 | 21,747 | 17,573 | ▲ 4,174 |
| 固定資産 | 69,802 | 70,733 | 931 |
| 負債 | 167,510 | 171,841 | 4,331 |
| 仕入債務 | 109,030 | 116,091 | 7,060 |
| 有利子負債 | 41,122 | 40,158 | ▲ 964 |
| 自己資本 | 56,036 | 58,129 | 2,092 |
| その他有価証券評価差額金 | 1,312 | 1,576 | 264 |
| (自己資本比率%) | 24.9 % | 25.1 % | |

中長期経営計画について

(1) 中期目標 – 売上高と経常利益



※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、2022年3月期以降の各数値(実績・計画)については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

(2) 中期経営計画重点施策① (持続的成長を目指した連結経営基盤強化)



重点施策

- 次世代人材育成
- ダイバーシティ・インクルージョン推進
- ポートフォリオマネジメント
- グループ共通基盤の構築を目指したIT投資
- コーポレートガバナンス、コンプライアンス強化

主な取組内容

- **ダイバーシティ・インクルージョン推進**
 - 2030年度までに女性管理職の比率を3.0%にすることを目標とし、女性管理職の積極登用を行う
 - **ダイバーシティ・インクルージョン推進課の新設 (2023年10月より)**
女性・シニア・外国人・障がい者等の多様な人材を受け入れ、より活躍できる組織へ
- **グループ共通基盤の構築を目指したIT投資**
 - ジャパン建材㈱に続き、JKHDグループ小売業に販売管理システム『ASview』を導入し、グループ内取引における業務負担・管理コストの軽減、取引先との迅速な情報共有を目指す
- **コーポレートガバナンス、コンプライアンス強化**
 - **経営に関する意思決定の迅速化と取締役会における監督機能のさらなる強化を目的とし、「監査等委員会設置会社」へ移行**
 - JKHDグループ会社、管理職を対象とするコンプライアンス研修、**労働安全衛生研修**を実施
 - **2023年10月20日よりスタンダード市場へ移行**

※赤文字は2024年度の取り組み事項

スタンダード市場への移行（2023年10月20日より）

2022年4月の市場区分の見直しにあたり、基準適合を確認の上プライム市場を選択し、その後も現在に至るまで一貫してプライム市場の上場維持基準に適合しておりますが、2023年4月の東京証券取引所の規則改正に伴い、改めて現状の当社に適切な市場区分について再検討を行ったところ、スタンダード市場の選択が適切との結論に至りました。

| 項目 | プライム 上場維持基準 | スタンダード 上場維持基準 | 当社の状況 (2023年3月末時点) | 適合状況 (プライム、スタンダード) |
|----------------|----------------|------------------|-----------------------|-----------------------|
| 株主数 | 800人 | 400人 | 8,429人 | ○ |
| 流通株式数 | 20,000単位 | 2,000単位 | 115,170単位 | ○ |
| 流通株式時価総額 | 100億円 | 10億円 | 121億円 | ○ |
| 流通株式比率 | 35% | 25% | 37.1% | ○ |
| 1日平均 売買代金 ※1 | 0.2億円 | — | 0.54億円 | ○ |
| 月平均 売買高（単位） ※2 | — | 10単位 | 8,602単位 | ○ |
| 純資産の額 | 正 | 正 | 578億円 | ○ |

※1 2022年1月～12月までの上場維持基準（売買代金基準）への適合状況を確認した結果の通知をもとに記載

※2 2022年10月～2023年3月までの売買高により算出

(3) 中期経営計画重点施策② (コア事業における競争力強化)



重点施策

- DXを活用した物流効率化
- M&A、事業承継を通じた拠点整備
- 取引先様へのサービス深化、高度化

主な取組内容

■ DXを活用した物流効率化

- 中核会社であるジャパン建材(株)内にて「物流最適化」を実施すべくプロジェクトチームを発足し、他社との協業を含め、当社グループにおける最適な物流網を構築していく

■ M&A、事業承継を通じた拠点整備

- (株)協和 (愛媛県今治市)、(株)ブルケン前橋銘木 (群馬県前橋市)、(有)原口建材店 (熊本県玉名市) の株式取得
- (株)東洋住建 (山形県寒河江市)、日新電機(株) (東京都江戸川区)、
(株)イタヤおよび(有)コスモランバー (新潟県南蒲原郡) からの事業譲受(詳細26～ 27p)
- 建材小売子会社の再編 (2023年4月)
(株)ブルケン東日本 (株)長谷川建材との合併)
(株)ブルケン・ウエスト (株)タムラ建材、(有)原口建材店との合併)

※赤文字は2024年度の取り組み事項

2023年9月21日付にて、新潟県を中心として住宅建築資材販売および住宅向け構造材プレカット加工を手掛ける(株)イタヤおよび(有)コスモランバー2社の事業をJKHD(株)の連結子会社であります(株)ブルケン・イタヤ(旧社名(株)ブルケン)にて譲り受けました。地域経済の雇用の維持および当社グループ小売セグメントにおける拠点を広げることで、グループ全体の企業価値の向上を図ります。

① (株)イタヤ

- ◆ 事業内容 住宅建築資材販売、構造材プレカット加工
- ◆ 設立日 1976年4月30日
- ◆ 所在地 新潟県南蒲原郡田上町大字田上丙910番地1
- ◆ 資本金 7,350万円

② (有)コスモランバー

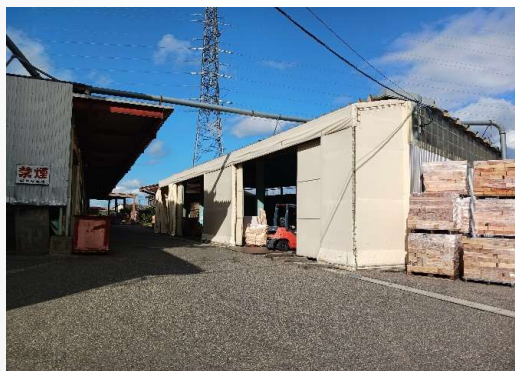
- ◆ 事業内容 住宅建築資材販売、構造材プレカット加工
- ◆ 設立日 1993年12月21日
- ◆ 所在地 新潟県南蒲原郡田上町大字田上丙890番地27
- ◆ 資本金 1,000万円



↑(株)イタヤ(現:(株)ブルケン・イタヤ 本社事務所)

(株)ブルケン・イタヤ

事業内容：住宅建築資材販売、構造材プレカット加工
所在地：新潟県南蒲原郡田上町大字田上丙416番地3
資本金：3,000万円
拠点：新潟本社、本社プレカット工場（新潟県南蒲原郡）
関東プレカット工場（群馬県前橋市）
長岡営業所（新潟県長岡市）
上越営業所（新潟県上越市）



※本社プレカット工場（左）、関東プレカット工場（右）



※イタヤ、コスモランバーより拠点を引継ぎ

(4) 中期経営計画重点施策③ (社会課題解決型ビジネスの推進)



重点施策

- ・ 循環型社会の構築に向けた取り組み
- ・ 職人不足、高齢化への対応
- ・ 後継者不在、経営者高齢化へのサポート

主な取組内容

- ・ 循環型社会の構築に向けた取り組み
 - 気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) の提言に賛同し、サステナビリティ推進基本方針を整備するため、サステナビリティ委員会発足・サステナビリティ推進室の新設
 - GHG排出量の削減目標の設定 (2030年度中に2022年度比20%減をめざす)
 - ジャパン建材(株)ではプライベートブランドの「J-GREEN製品」、「森林認証材」の販売先への伝票 (納品書等) に「炭素貯蔵量」の表示を開始 (2023年11月20日より)
 - (株)キーテックによる持続的な林業を後押しするプロジェクトとして、山梨県北杜市にある森林を「キーテックの森・檜山」と命名。2023年6月1日に記念植樹を実施 (詳細30p)

※赤文字は2024年度の取り組み事項

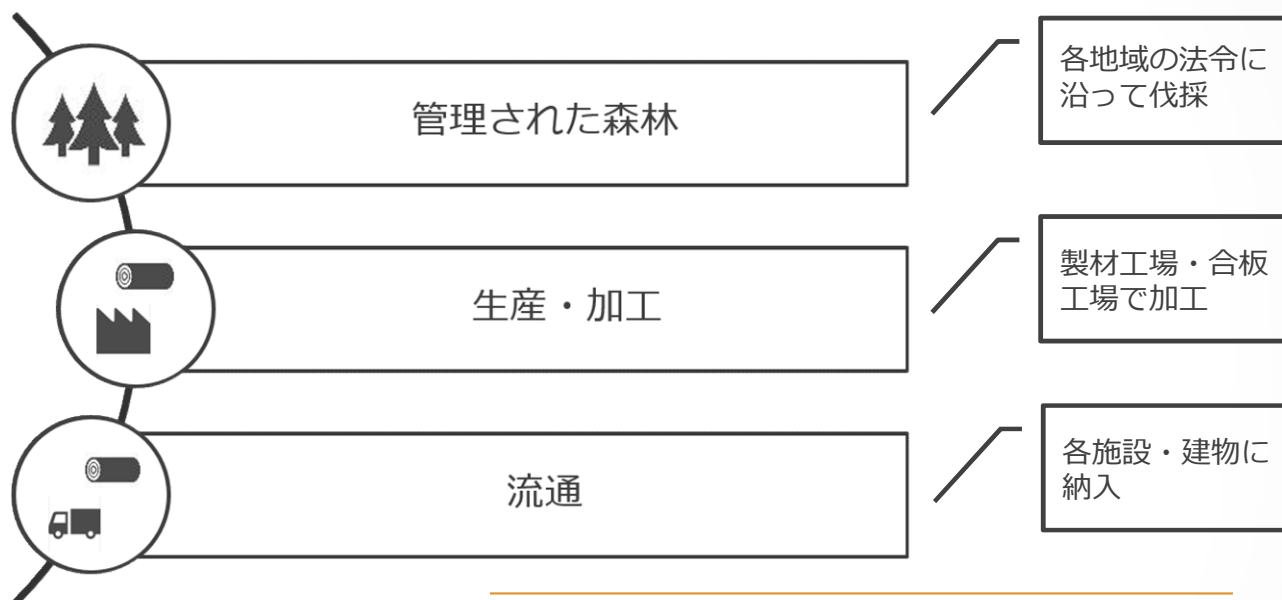
環境配慮型プライベートブランド J-GREENについて



ジャパン建材(株)は合板・木材製品のエコブランド、プライベートブランドの「J-GREEN」事業を開始しました。合法性等に配慮した製品、環境に優しい製品を選定し、国内外での普及に向けて取り組んでまいります。



- ・ 供給販売
- ・ 企画提案
- ・ 普及活動



| (百万円) | 2022年9月期 | 2023年9月期 |
|-------|----------|----------|
| 売上高 | 2,094 | 1,762 |
| 合板 | 1,752 | 1,499 |
| 木材 | 342 | 263 |

再造林促進への取り組み『キーテックの森・檜山』



2023年3月2日、(株)キーテックは山梨県内の山林所有者や素材生産業者などと森林整備協定を締結し、持続的な林業を進めていくプロジェクトを進めております（山梨県有地約57 ha）。

(株)キーテックとしては、合板やLVLの原料として購入する丸太を、再造林ができる価格で計画的に買い取る事で、持続的な森林経営を後押しする取り組みです。

山梨県北杜市にある森を「キーテックの森・檜山」と命名し、4月に再造林を実施、6月1日に記念植樹を行いました。

伐採～植林～再造林のサイクルを確実に実施していくための仕組みを構築し、**持続的な森林経営**を後押しする取り組みです。

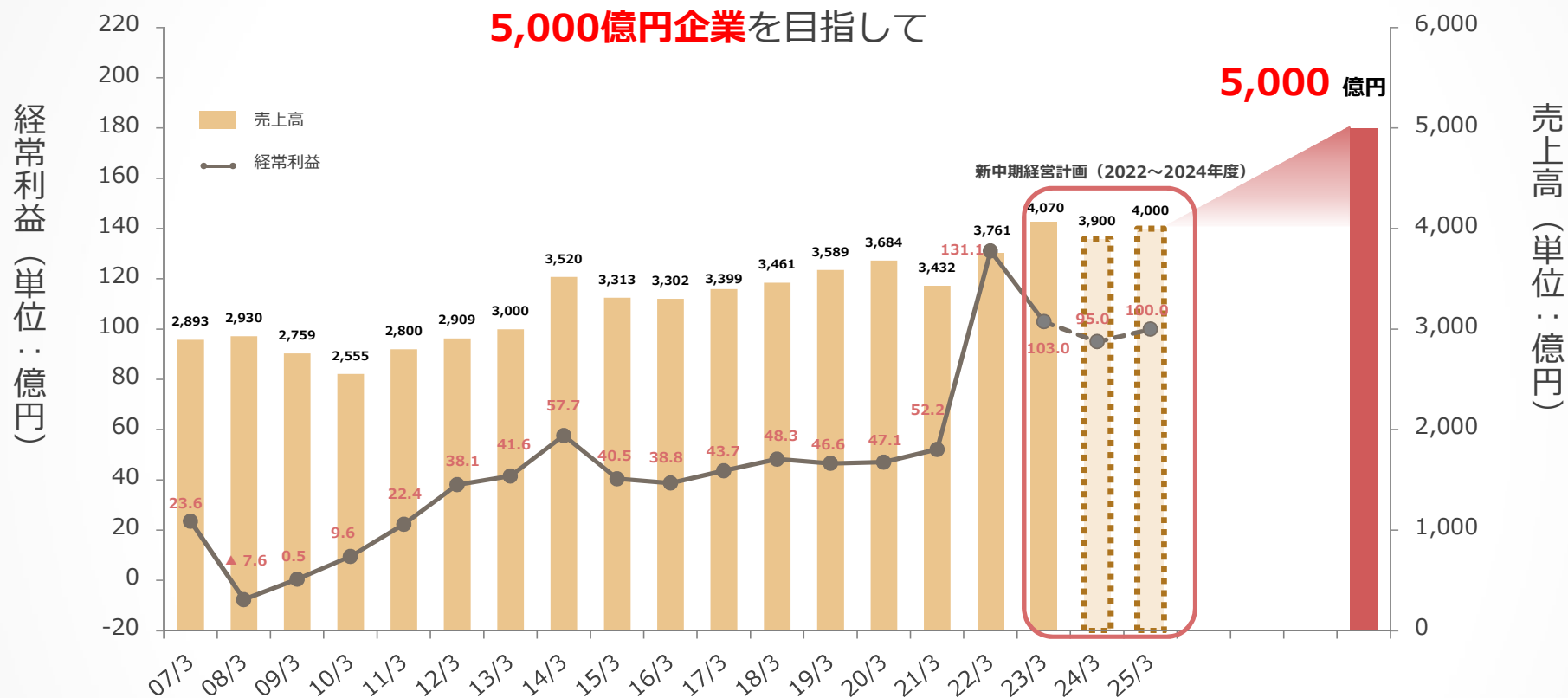
※山梨県の林業振興に貢献できればと考えております。



(5) 長期経営目標

Brand - New JKHD 2030

5,000億円企業を目指して



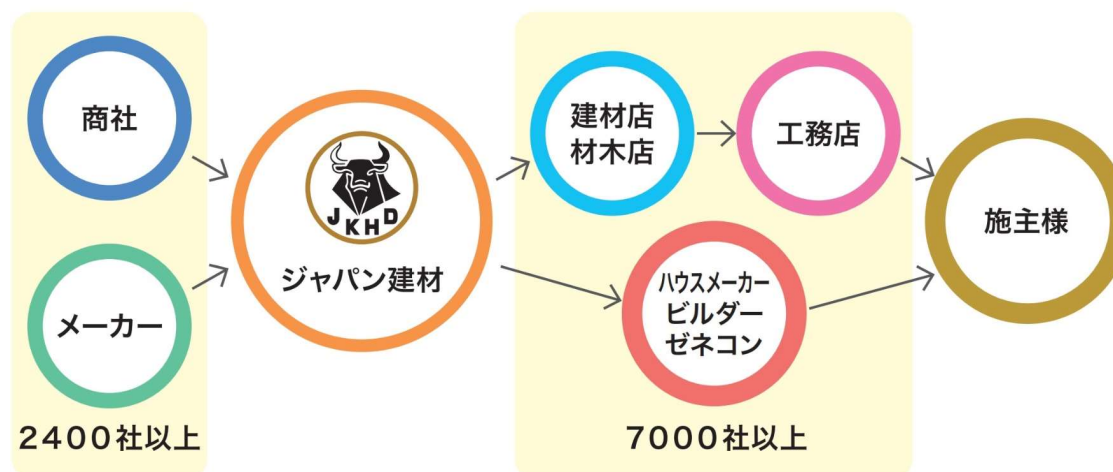
< 経営陣から投資家の皆様へ >

業界の変化に対応しつつ、企業価値の向上を目指します。
 創造性と挑戦心を持って、事業領域の拡大、深耕を進めていき、
 グループ企業の連携を深め、業界ダントツNO.1グループへと成長していきます。

補足資料

総合建材卸売事業の概要

住まいづくりに必要とされる、さまざまな部材・資材の販売（卸売）を主な事業内容としています。



・素材

合板・木材・石膏ボード・断熱材

・外装・サッシ

外壁材・屋根材・サッシ・玄関ドア・エクステリア

・内装材

床材・建具・収納・階段

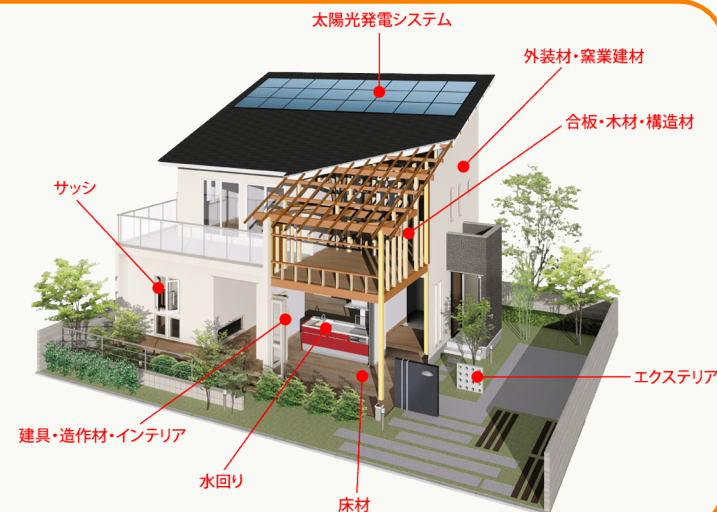
・水廻り

キッチン・ユニットバス・洗面化粧台・トイレ

・省エネ機器

太陽光発電・蓄電池・HEMS・エコキュート

…etc.



JKHD未来研究所 東京ショールーム（1周年）

JKHDグループ3社合同で新宿OZONE内6Fにショールームを開設し、1周年を記念してリニューアルイベントを行いました。今回も首都圏エリアのお客様を中心に多くの販売店様と工務店様にご来場いただくことができました。今回のリニューアルの注目ポイントは、国内で唯一常時展示を行っている海外製食洗器『BOSCH』の全機種展示とmoki『Estyle』の新商品です。BOSCHはなかなか実機を見ることができない機種であったため、販売店様・工務店様問わず、熱心に説明を聞いていらっしゃる様子が伺えました。今後も皆様に魅力あるご提案や発信ができるよう、また提案ツールとしてもご利用いただけるように様々な企画を行えればと考えております。

<2023年10月16日～17日>



JKHD
未来研究所
東京ショールーム



【Webサイト】



【Instagram】

第44回 ジャパン建材フェアの開催

ジャパン建材株式会社



2023年8月24日・25日に「第44回ジャパン建材フェア」を東京ビッグサイトにて開催。テーマは昨年同様、「ROAD to 2030 つなぐ今 つなげる未来」と設定され、サステナブルな取り組みをアピールする展示や有名講師によるセミナーの実施、200社以上に及ぶ建材・住設メーカーによる展示をして、住宅業界の最新情報に触れる場を提供することができました。

実績
売上高 306.9億円
動員 14,556名

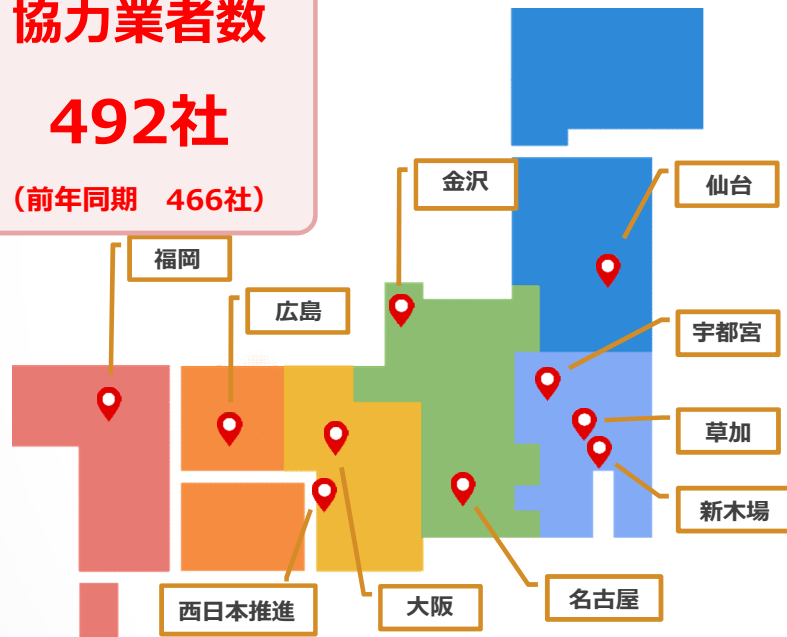


ジャパン建材の
強み

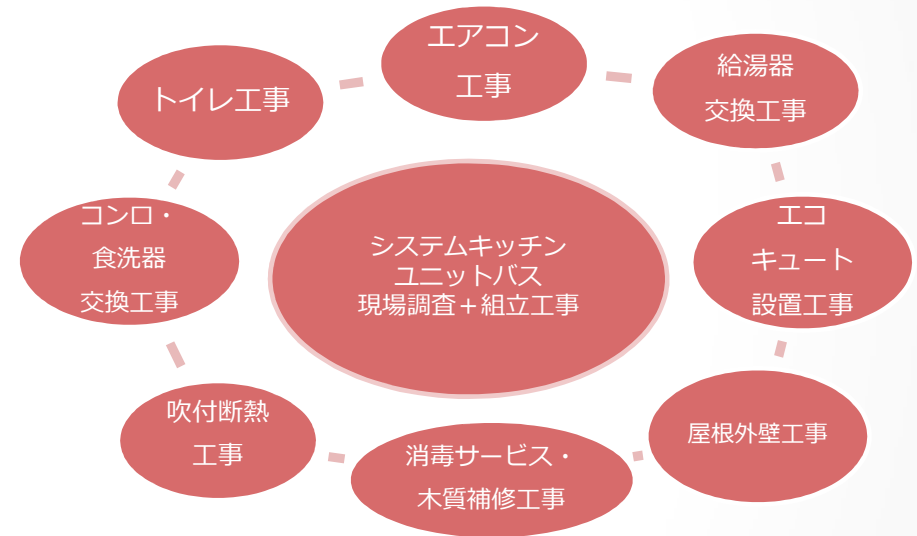
水廻りの施工品質の維持向上を図るとともに、水廻り以外の工事提案の強化および工事機能の向上を実現することで、企業価値を高め、競合他社と差別化を図ります。

施工ネットワークを構築

協力業者数
492社
(前年同期 466社)



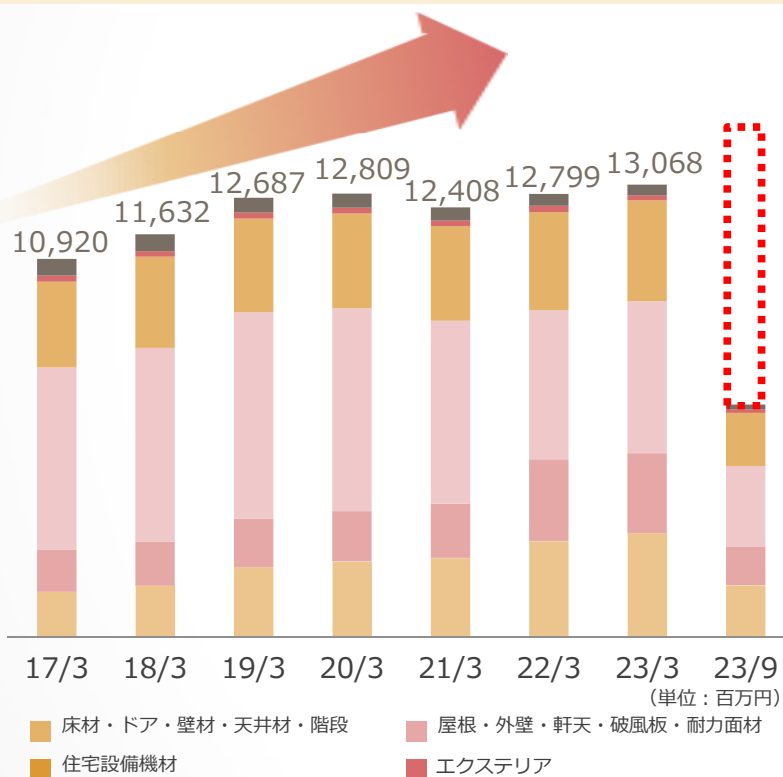
JKエンジニアリングは10拠点のネットワークで全国を網羅しています。



| | 売上 (千円) | 依頼台数 (台) |
|----------|---------|----------|
| 2023年9月期 | 368,738 | 6,602 |
| 2022年9月期 | 337,422 | 6,579 |

PB商品Bullsの販売状況

立ち上げから20年以上経過したBullsの取り扱いカテゴリ数は、660以上。売上高は130億円を超え、右肩上がりに売り上げを伸ばしています。そして現在はブランドをリニューアルし、情報の伝え方を抜本的に改革しながら、より多くのお客様に届くように積極的に価値を発信しています。建材商社としての強みを活かし、「一発で探しているものが見つかる」ブランドとしてファンを増やし続けていきます。



上期売上
67億円
通期目標
150億円



JK木造建築グループの取り組み

グループスローガン
「森のめぐみをかたちに つなげる未来」

売上100億（※1）を目標とし、木造建築分野を広くカバーする当グループは、さまざまな規模の非住宅案件に注力しています。（※1 JK木造建築グループ 非住宅案件売上）

①2022年木材利用優良施設等コンクール 内閣総理大臣賞
『流山市立おおぐろの森中学校』（千葉県）



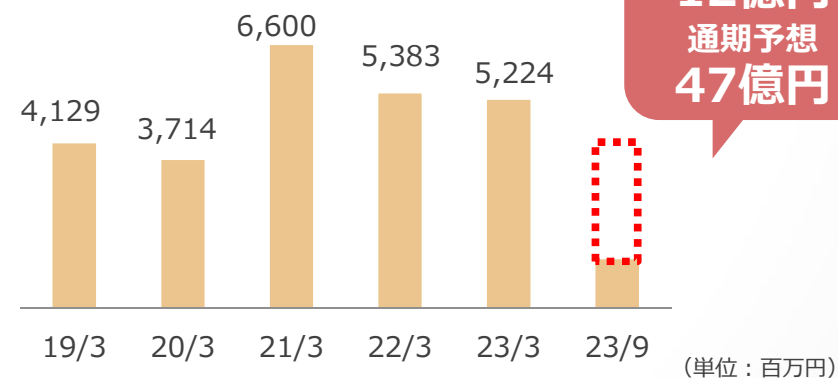
②2022年木材利用優良施設等コンクール 農林水産大臣賞
『京丹波町役場 新庁舎』（京都府）



③ JK木造建築グループ 構成



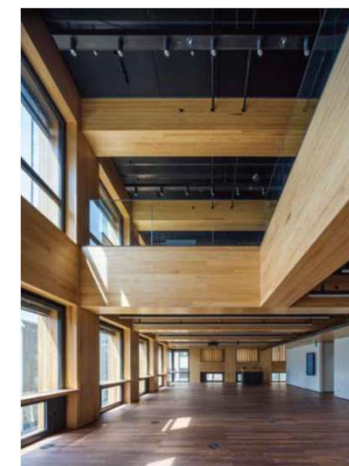
④ JK木造建築グループ 非住宅案件売上



(株)キーテックによる都市部の木造・木質化への貢献

(株)キーテックはLVLを納品し、都市部における非住宅の木造化、内装の木質化に貢献しております。

■ Port Plus 大林組横浜研修所

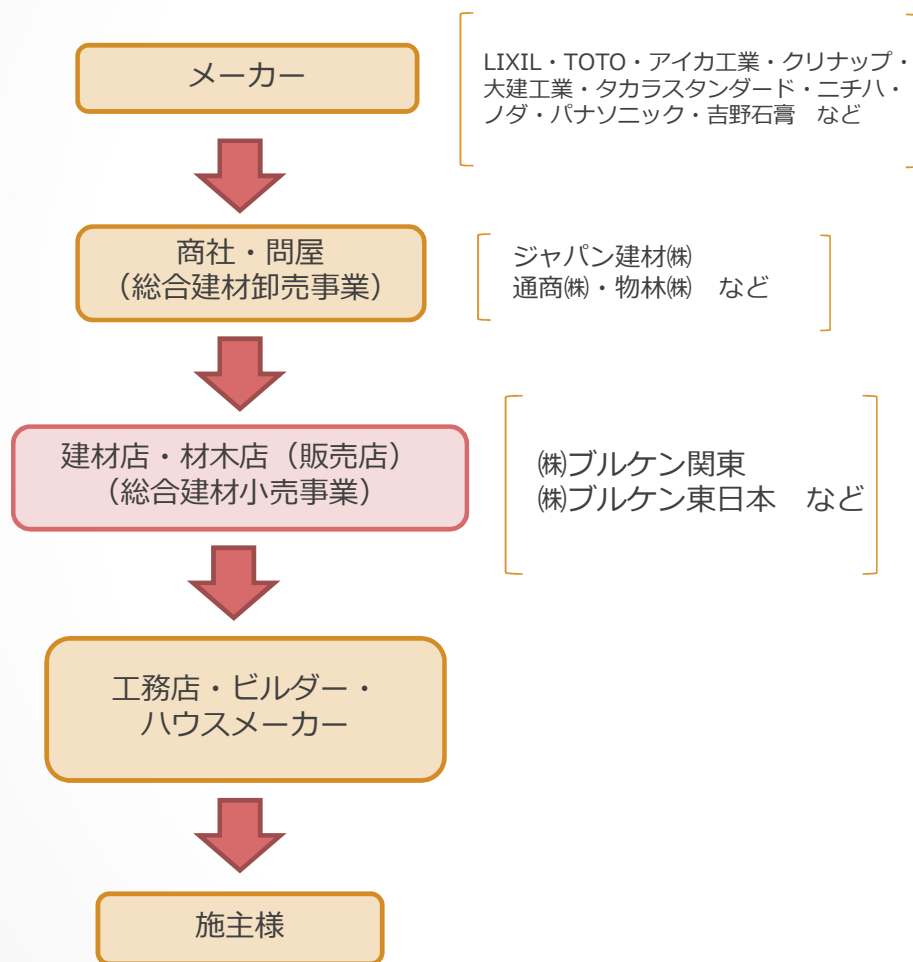


■ JR幕張豊砂駅

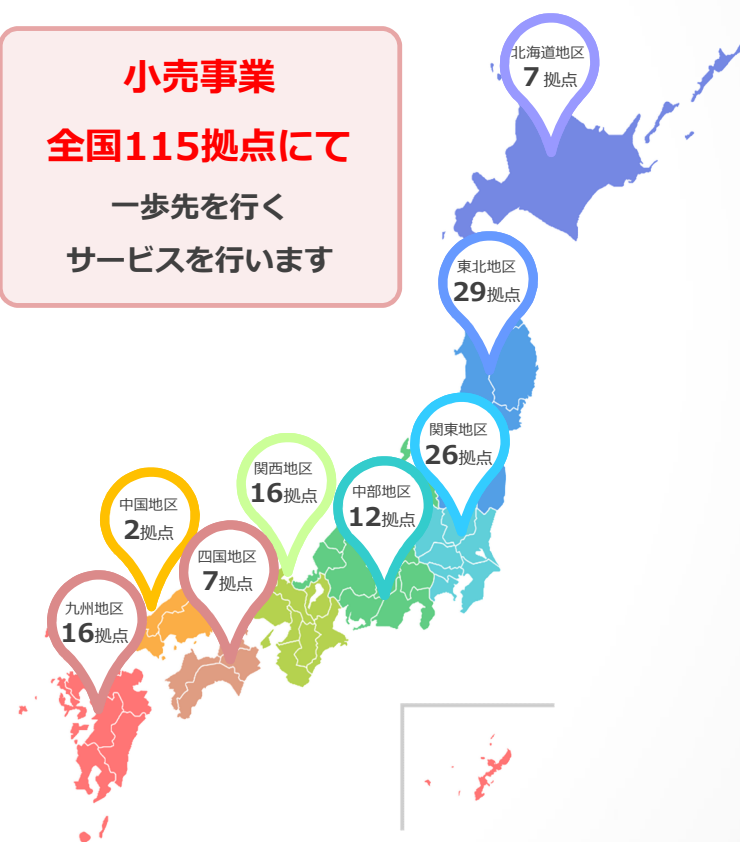


総合建材小売事業の概要

合板、合板二次、建築資材および住宅機器等の小売事業は、全国各地に地域密着型の販売店を有し、建築会社、工務店など現場の需要に迅速に対応いたします。



小売事業
全国115拠点にて
一歩先を行く
サービスを行います





JKホールディングス株式会社